

带状疱疹予防接種費用助成事業のQ&A

②

Q. 带状疱疹予防ワクチンの助成を数年後に再度受けることはできますか。

A. できません。いずれかのワクチンの助成は、一生に1種類のワクチンとなります。将来、追加接種を行う場合は、主治医と相談の上、自費で接種することになります。

Q. 水ぼうそうの罹患歴がない人の带状疱疹ワクチン接種は効果がありますか。

A. 本人に罹患した記憶がないという場合でも、50歳以上では、100%のウイルスを体内に持っているというデータがあるため、接種は可能です。

Q. 不活化ワクチンの1回目を市外等で接種し2回目だけ助成を受けることはできますか。

A. できます。但し、6か月以内に2回目を接種する必要があるため、1回目の接種日のわかる領収書等を持参してください。紛失時は、接種した医療機関等にお問合せいただき、接種日のわかるものの提示をお願いします。

Q. 意思の確認のできない人は、接種対象となりますか。

A. 任意接種で本人の希望による接種となります。本人の意思の確認が、なんらかの方法でわかれば対象となりますが、確認できない方は対象外となります。

Q. 予防接種救済制度の対象になりますか。

A. 任意接種のため国の予防接種救済制度の対象外となります。しかし、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法(平成14年法律第192号)及び田原市予防接種事故災害補償規程(昭和59年田原町訓令第9号)の対象となる場合があります。

Q. 生ワクチンと不活化ワクチンの製品名を教えてください。

A. 生ワクチンは『乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」』、不活化ワクチンは、「シングリックス筋注用」となります。どちらも、带状疱疹の予防に使用できますが、どちらか一方のみを選んで接種してください。

Q. 生ワクチンと不活化ワクチンの違いは？どちらの方が、効果がありますか。

A. 効果や副反応、接種できない方、費用が異なるため、田原市のホームページや裏面の説明書をご覧ください。

Q. 带状疱疹にかかったことがある人も带状疱疹ワクチンを打つことができますか。

A. 接種できます。带状疱疹にかかった方でも、体の免疫力が低下すると、再びかかる可能性があり、带状疱疹の予防が大切です。

Q. 带状疱疹はうつる？うつらない？

A. 带状疱疹は、体内に潜伏しているウイルスが原因で発症するため、他の人から带状疱疹としてうつることは、ありません。ただし、带状疱疹のウイルスの感染で、水ぼうそうの免疫をもたない乳幼児等は、水ぼうそうを発症することがあります。水ぼうそう入院患者のうち、約3割は带状疱疹が感染源だったと報告されています。

<問い合わせ先>

田原市役所 健康課 健康増進係	TEL 23-3515	FAX 23-3810
あつみライフランド 健康課 保健係	TEL 33-0386	FAX 33-0319